

平成 30 年度 タイ夏期英語研修 報告書

理学部物理学科 1 年 長谷川莉子

私は8月26日から9月22日まで、チェンマイ大学の語学センターで、夏期英語研修に参加しました。ここでは、授業やフィールドトリップ、現地での生活についてご紹介していきます。

1. 授業

授業は、初日に受けたテストによって2クラスに分けられ、基本的には、月曜から金曜まで、3時間×2コマ行われました。主に英語のコミュニケーションやプレゼンテーションについて学び、その都度文法や発音について教えてもらいました。授業はすべて英語で行われますが、ペアワークやゲームを通して学習していくことも多いので、緊張することなく受けることが出来ます。課題もあり、それをもとに授業でプレゼンテーションの練習をしました。最終日にはその集大成として全体で発表をしました。また、週1回程度で、タイ語の授業もありました。基本的な会話や単語を学び、グループ発表なども行いました。授業全体として、アクティブなものが多く、研修前に比べ、積極的にコミュニケーションがとれるようになったと感じます。

2. フィールドトリップ・自由時間

タイ研修はフィールドトリップがとても充実していました。タイの文化に触れることのできるツアーや、現地の人たちとの交流の機会がたくさんあり、盛りだくさんの1ヵ月でした。チェンマイだけでなく、一泊二日でスコータイに行ったりもしました。また、授業が終わった後の自由時間や、Free day には、メンバーや現地の学生バディたちと一緒に観光名所やナイトマーケットにいきました。たくさんの場所に連れて行ってもらえるところもタイ研修の魅力だと思います。

3. 現地の生活

滞在中は、二泊三日のホームステイを除き、ホテルで過ごしました。メンバー全員が同じホテルなので、助け合いながら生活ができ、仲を深められました。また、チェンマイ大学のバディたちと一緒にいることも多く、たくさん交流ができました。食事は、お昼は学校で出ますが、朝と夕飯は自由だったので、ホテルの下にあるスーパーで買ったり、ナイトマーケットなどに行って食べたりしていました。出かけるときの移動はレッドカーというタクシーのようなものを使いました。現地の人は割と英語が通じるので、あまり不自由はしません。基本的に物価が安く、日本のものも多く売っているので生活に困ることはありませんでした。ただ、水や屋台の食べ物には気を付けた方がいいです。

4. まとめ

私は、今回のタイ夏期英語研修で、思っていた以上にたくさんの貴重な経験ができました。ネイティブな英語学習はもちろんですが、異国の文化に触れ日本ではできないような体験をすることができ、とても濃い1ヵ月になりました。また、一緒に行ったメンバーともとても仲良くなれ、多くのものを得ることができました。もし、行ってみようか悩んでいるならば、ぜひチャレンジしてほしいと思います。